コンセントバー（ネットワーク対応型）30Aタイプ IECコンセントバー200Vタイプ RD81 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
⚠注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
  - ⃠ してはいけない内容です。
  - ❗ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

⚠警告

⃠	定格電流、定格電圧を超えた条件下で施工しないでください。発熱して焼損や火災の原因になります。	アースせよ	接地（アース）は確実に施工してください。破損、感電や火災の原因になります。
分解禁止	分解、改造をしないでください。感電や火災の原因になります。	❗	増締めの際、必ずプラグを抜くなどして、電源が供給されていないことを確認してから作業してください。感電の原因になります。

⚠注意

❗	ラックに固定して使用してください。破損、感電や火災の原因になります。	⃠	異極間の絶縁抵抗試験を行わないでください。焼損の原因となります。
❗	組付けに際してねじをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと破損、落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。		

ねじの呼び	適正締付トルク値※
M5	2.9～3.9N・m
皿小ねじ	1.2～2.0N・m

※但し、S タイトねじにおいては締付時の初期トルク値はこの限りではありません。

※その他注意事項につきましては、付属の取扱説明書（APC）をご覧ください。

■使用上のご注意

⚠警告

❗	コンセント 1 口につき、15A 以下（IEC C13 は 12A 以下）、合計 30A 以下で使用してください。本製品は分岐ブレーカを 2 台備え、2 分岐回路となっております。それぞれの回路（バンク毎）は 15A 以下で使用してください。発熱して焼損や火災の原因になります。	⃠	電源コードを束ねての使用はお避けください。電源コードが過熱して火災の原因になります。
			通電中に電源接続部のカバーを開けないでください。感電や火災の原因になります。
	周囲温度 45℃以下で使用してください。発熱して焼損や火災の原因になります。	ぬれ手禁止	被覆に傷が付いた状態での使用や、濡れた手でのプラグの抜差はしないでください。感電の原因になります。
		分解禁止	分解、改造をしないでください。感電や火災の原因になります。

※その他注意事項につきましては、付属の取扱説明書（APC）をご覧ください。

⚠注意

洗剤や殺虫剤をかけないでください。
発煙や発火の原因になります。

ほこり、湿気の多い場所では、プラグを長時間差したままにしないでください。定期的にプラグの表面や差込部の掃除をしてください。発煙や発火の原因になります。

刃の曲がったプラグを使用しないでください。
発熱して火災の原因になります。

左右の刃の大きさが違うプラグは使用しないでください。プラグが外れなくなる場合があります。

二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜けやすくなり発熱して火災の原因になります。

差込みが浅い状態で使用しないでください。
感電や発熱して火災の原因になります。

プラグの抜差しが極端に弱い状態で使用しないでください。発熱して火災の原因になります。

電源コードに熱いものを近づけたり、加熱しないでください。破損、感電や火災の原因となります。

外部カバー、電源コード、プラグ、コンセントが破損したままの状態で使用しないでください。感電や火災の原因になります。

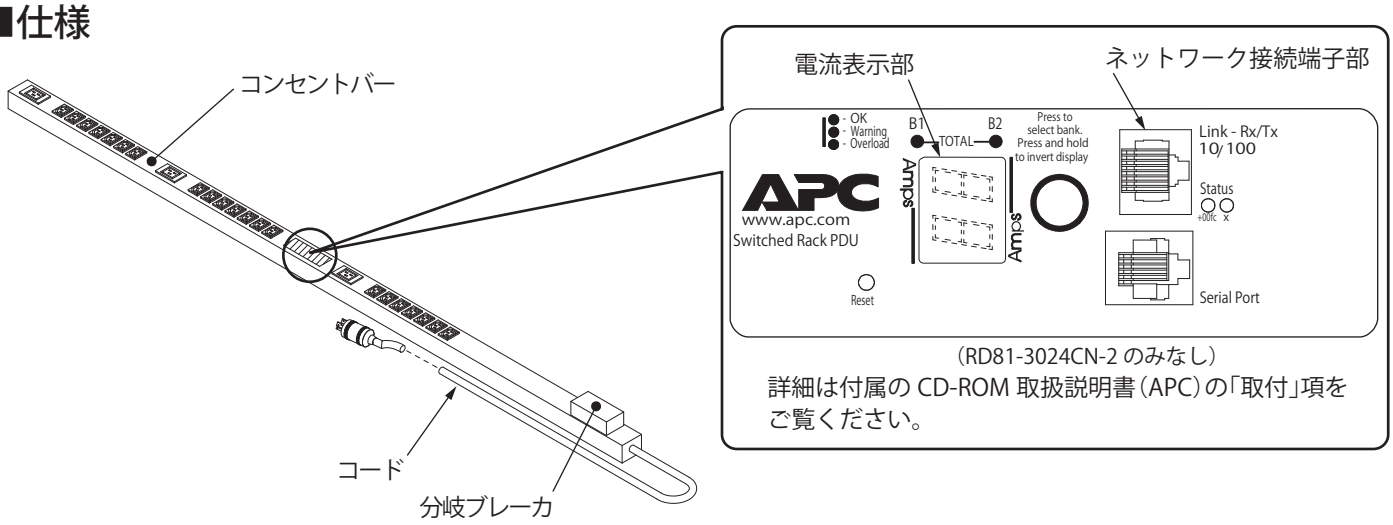
電源コードの固定、引張り、はさみ、無理な曲げ、ねじり、傷付け、加工、加熱、重いものを乗せるなどしないでください。コードが断線し火災の原因になります。

次のような場所で使用しないでください。
故障、感電、火災などの原因になります。
- 高温、高湿となる場所
- 腐食性ガスのある場所
- 可燃性ガスのある場所
- 振動、衝撃のある場所
- 塵埃やオイルミストが多い場所
- 水滴のかかる場所
- ノイズ、電界、磁界の強い場所

プラグを抜く際は、必ずプラグを持ってまっすぐに引抜いてください。内部の電線が切れて、焼損や火災の原因になります。

本製品の設置環境は下記条件で使用してください。
- 周囲温度：0℃～45℃
  （ただし、24時間の平均値が35℃を超えないものとする）
- 周囲湿度：95%以下
  （氷結や結露がないこと）
- 標高3000m以下

■仕様



（RD81-3024CN-2 のみなし）

詳細は付属の CD-ROM 取扱説明書（APC）の「取付」項をご覧ください。

●コンセントバー（ネットワーク対応型）30A タイプ

品名記号	定格電圧（V）	定格電流（A）		コンセント仕様	コード仕様	備考	適用機種※
		コンセント 1 口	合計				
RD81-3024M RD81-3024MS	AC100	15	30	NEMA 5-15R 24 口	NEMA L5-30 3m コード付	ネットワーク対応タイプ	タテ 2000mm 以上 フカサ 1000mm 以上

●IEC コンセントバー 200V タイプ

品名記号	定格電圧（V）	定格電流（A）		コンセント仕様	コード仕様	備考	適用機種※
		コンセント 1 口	合計				
RD81- 3024CN-2	AC200	12（IEC C13） 15（IEC C19）	30	IEC C13 20 口 IEC C19 4 口	NEMA L6-30 3m コード付	—	タテ 2000mm 以上 フカサ 1000mm 以上

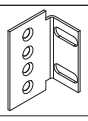
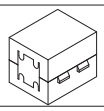
※ラック本体（FS シリーズ /AH シリーズ）外形寸法を示します。

（ご注意）

本製品は、分岐ブレーカを 2 台備え、2 分岐回路となっております。それぞれの回路（バンク毎）の定格電流は 15A となります。

■付属品

【APC 製品】

名称	数量		
	RD81-3024M	RD81-3024MS	RD81-3024CN-2
マウンティングレール取付金具 	2 コ	2 コ	2 コ
皿小ねじ（＃8-32 長さ 3/16）	4 コ	4 コ	4 コ
抜止め防止用トレイ	2 コ	3 コ	2 コ
皿小ねじ（＃6-32）	8 コ	12 コ	8 コ
ワイヤタイ	24 本	24 本	24 本
設定ケーブル	1 本	1 本	
ノイズフィルター 	1 コ	1 コ	
CD-ROM 取扱説明書（APC）	1 枚	1 枚	1 枚
取扱説明書 英語版（APC）	1 部	1 部	1 部

（ご注意）
取扱説明書（APC）の日本語版につきましては右記表記載の APC 品名に対応する取扱説明書 CD-ROM(APC）をご覧ください。また、IEC ンセントバー 200V タイプにつきましては該当製品がございませんので、右記表に対応している APC 品名の「取付」項をご覧ください。

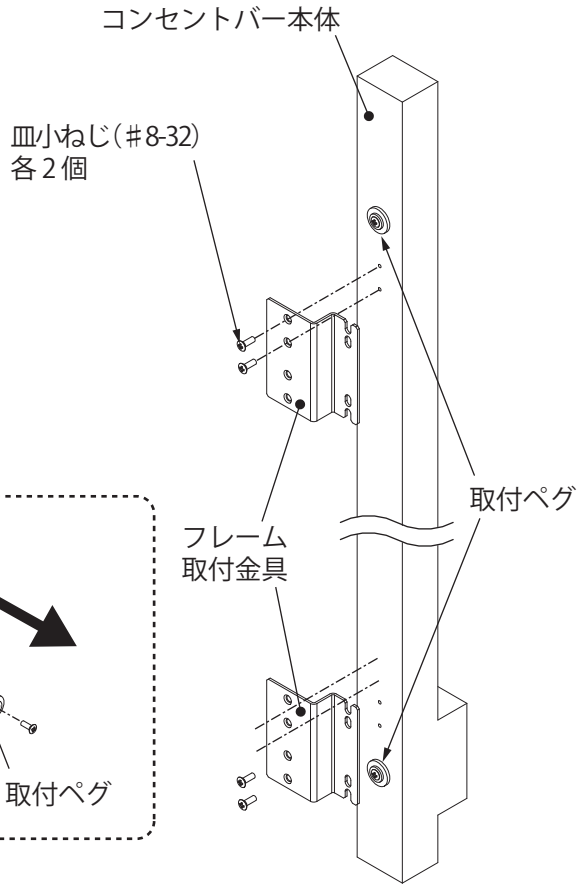
品名	APC 品名	「取付」項参照品名
RD81-3024M	AP7832J	日本語版あり
RD81-3024MS	AP7932J	日本語版あり
RD81-3024CN-2	AP7541	AP7532J

【日東工業製品】

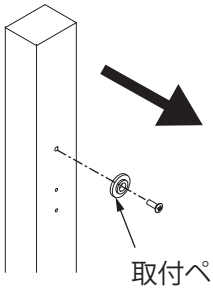
名称			数量
ＦＳ取付用	S タイトねじ M5		4 コ
ＡＨ取付用	3 点セムスなべ小ねじ M5		4 コ
	ナット		4 コ
	ナットサポート		4 コ
	フレーム取付金具		2 コ
	皿小ねじ（＃8-32 長さ 1/4）		4 コ
	取扱説明書（日東工業）		1 部

■フレーム取付金具の取付方法

コンセントバー本体の背面 2 ヵ所にフレーム取付金具を取付けます。取付けには付属の皿小ねじ（＃8-32）を使用してください。



（ご注意）
FSST、FSG、AH シリーズに取付の場合は、側フレームとの干渉を避けるため本体から取付ペグを取外してください。（上下 2 ヵ所）



⚠注意

組付けに際してねじをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと破損、落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク値
皿小ねじ	1.2～2.0N・m

■ラック本体への取付方法

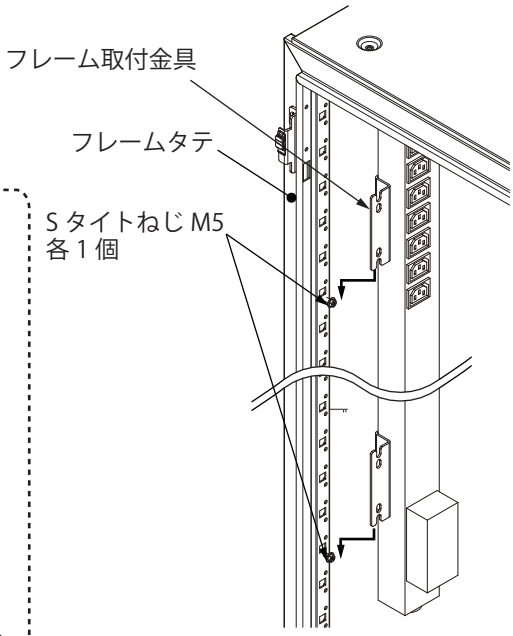
【ＦＳシリーズ】

※FST の取付は異なります。別途お問合せください。

1. 背面側フレームタテに付属の S タイトねじ M5 を 2 ヵ所仮止めします。

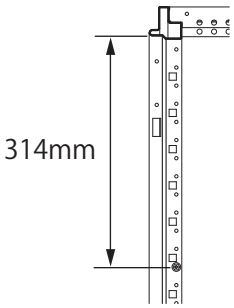
2. フレーム取付金具の溝に引掛けます。

ラック背面側



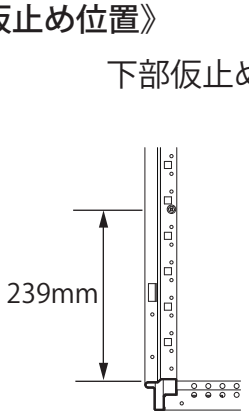
《S タイトねじ M5　仮止め位置》

上部仮止め位置

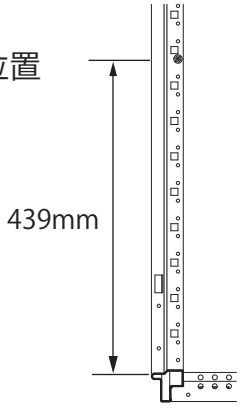


（上から 13 個目の穴）

下部仮止め位置



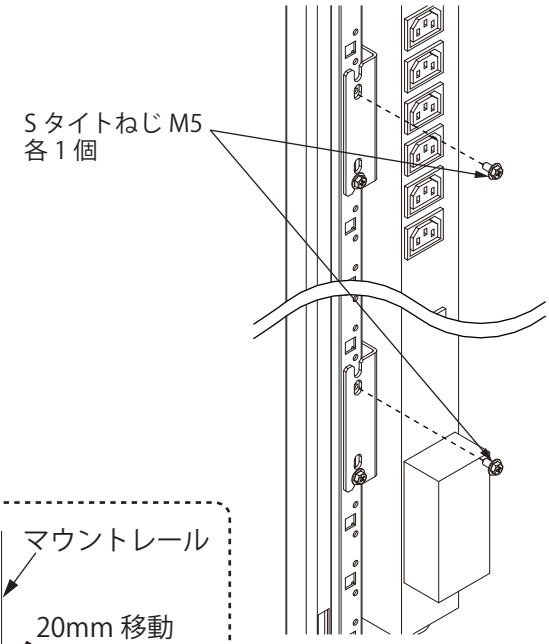
（下から 10 個目の穴）
FS□□-□20 の場合



（下から 18 個目の穴）
FS□□-□22 の場合

3. フレーム取付金具を付属の S タイトねじ M5 を使用してフレームタテに 2 ヵ所ねじ止めします。

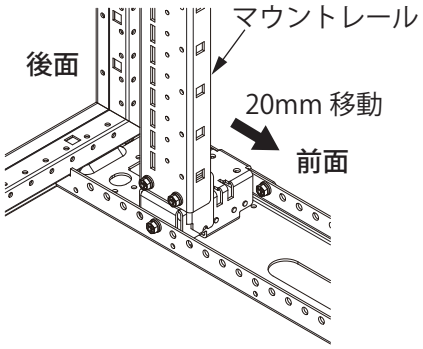
4. 1 にて仮止めしたねじを本締めします。



（ご注意）

M5 ねじ用マウントアングルを使用したラックへの取付方法（FSN を除く）

マウントレールを前面扉方向に 20mm 移動させ取付けます。
（マウントレール移動方法の詳細につきましては、FS シリーズ取扱説明書をご覧ください。）



⚠注意

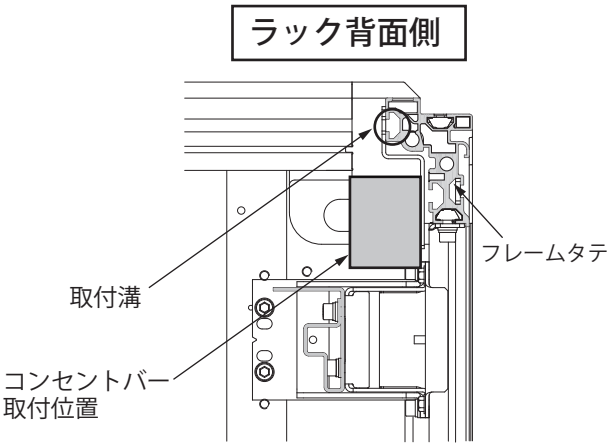
組付けに際してねじをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと破損、落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク値※
Sタイトねじ M5	2.9～3.9N・m

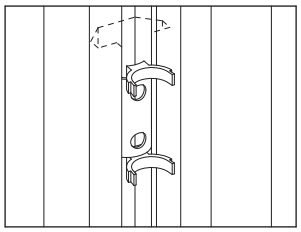
※但し、S タイトねじにおいて締付時の初期トルク値はこの限りではありません。

【ＡＨシリーズ】

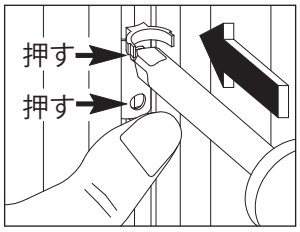
1. 背面側フレームタテの取付溝に付属のナットサポートおよびナットを 4 個取付けます。



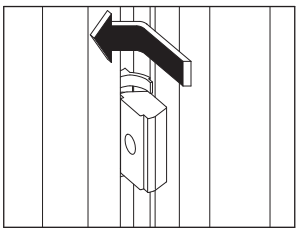
①ナットサポートを取付溝にはめる。



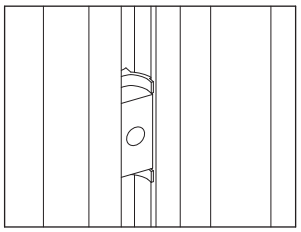
②ナットサポートを溝に押込む。



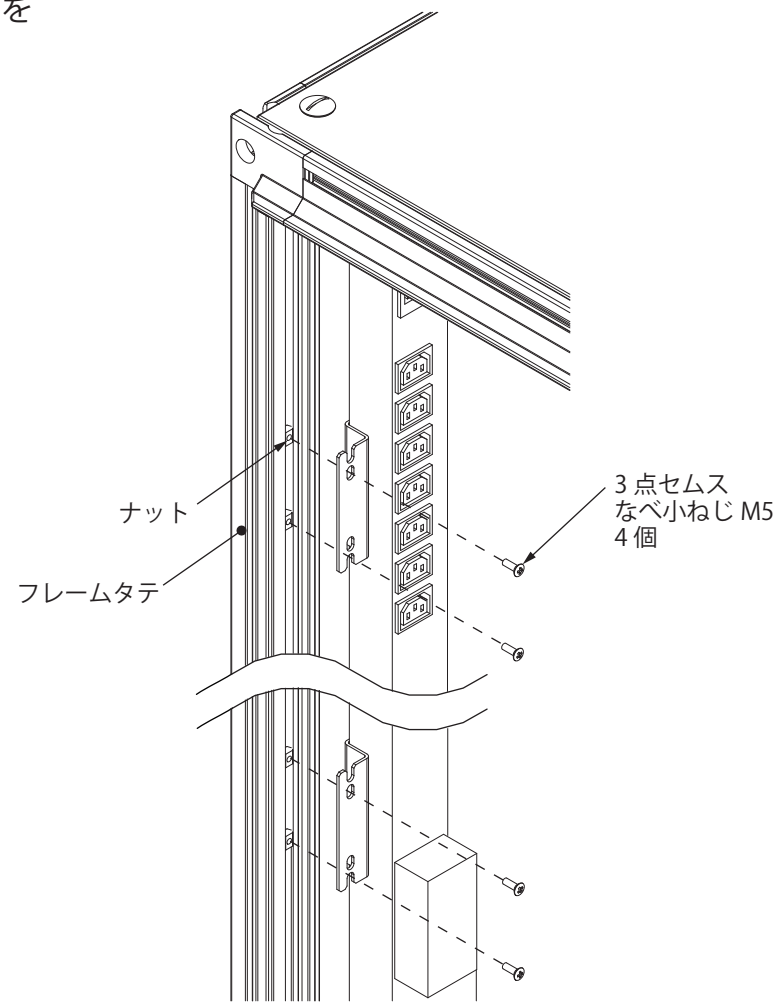
③ナットサポートにナットをはめる。



④ナットのはめ込みを確認する。



2. 付属の 3 点セムスなべ小ねじ M5 を使用して 4 ヵ所ねじ止めします。



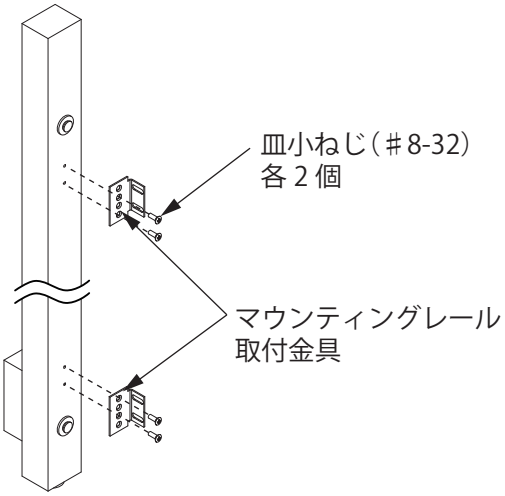
⚠注意

組付けに際してねじをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと破損、落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク値
M5	2.9～3.9N・m

■背面側ケージナット用マウントアングルへの取付方法

1. コンセントバー本体の背面 2 ヵ所にマウンティングレール取付金具を取付けます。取付けには付属の皿小ねじ（＃8-32）を使用してください。

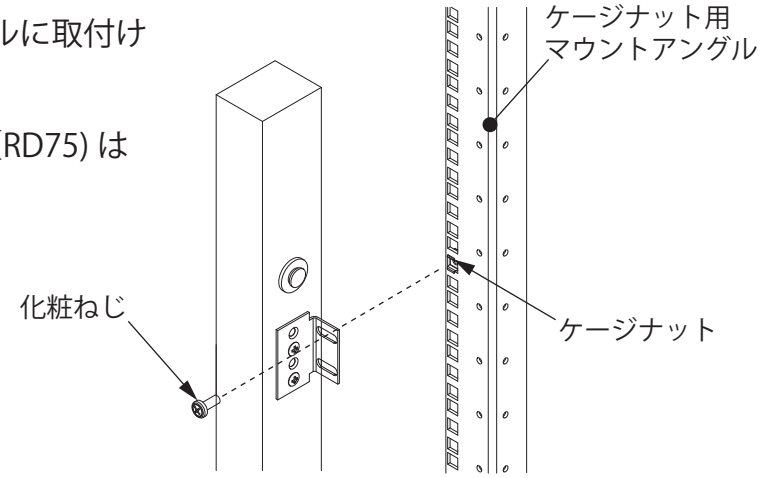


⚠注意

組付けに際してねじをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと破損、落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

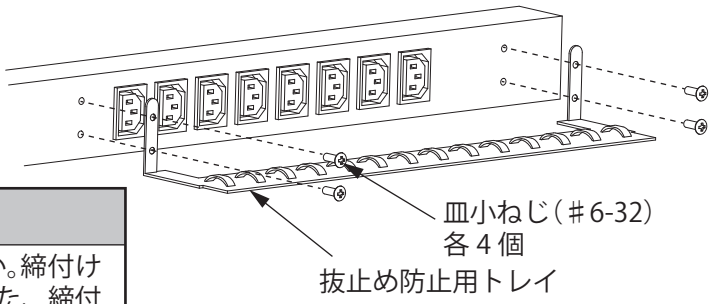
ねじの呼び	適正締付トルク値
皿小ねじ	1.2～2.0N・m

2. ケージナットを使用してマウントアングルに取付けます。
（ご注意）
ケージナット（RD751）または化粧ねじ（RD75）は別途ご用命ください。



■抜止め防止用トレイの取付方法

コンセントバー本体に抜止め防止用トレイを取付けます。取付けには付属の皿小ねじ（＃6-32）を使用してください。



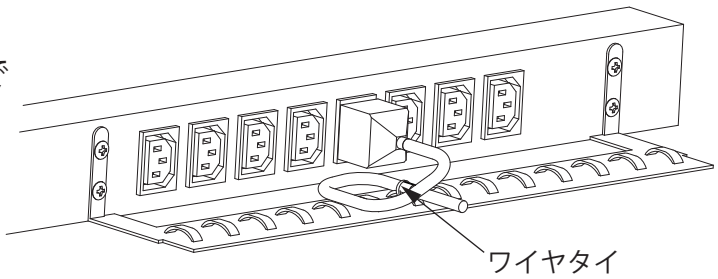
⚠注意

組付けに際してねじをしっかり締付けてください。締付けが不十分ですと破損、落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク値
皿小ねじ	1.2～2.0N・m

■抜止め防止用トレイへのコード取付方法

抜止め防止用トレイに電源コードを取付ける際は、電源コードを巻いて付属のワイヤタイで電源コードをトレイに固定してください。



■ネットワークの設定方法

ネットワークの設定方法については付属のCD-ROM取扱説明書（APC）をご覧ください。

MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年12月現在のものです。

C418245924

日東工業株式会社
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp

© NITTO KOGYO CORPORATION